

給食紹介

令和 5年 10月 27日(金)

ごはん 牛乳 かぼちゃコロッケ かみかみあえ お月見汁

安中総合学園高
校で栽培の
“さといも”です。



今日10月27日は“十三夜”です。
『まんまるお月様』がみえるといい
ですね。
“十三夜”には、お月様のように丸
いものをお供えて、食べます。



十三夜

今日、10月27日は十三夜です。十三夜は、旧暦の9月13日～14日の夜をいいます。十五夜が中国伝来の風習であるのに対し、十三夜は日本で始まった風習のようです。十五夜では月の神様に豊作を願います。十三夜は、稲作の収穫を終える地域も多いことから、秋の収穫に感謝しながら、美しい月を愛でるのです。十五夜の頃は芋の収穫時期にも重なることから別名「芋名月」とも言われています。これに対して、十三夜は、豆や栗の収穫時期でもあるため、「豆名月・栗名月」と言われています。

今日は、白玉もちと里芋の入った「お月見汁」、で**お月見メニュー**です。

平安時代に醍醐天皇が、月見の宴を催し、詩歌を楽しんだのが、十三夜の月見の始まりではないかという説があります。また、平安時代後期の書物に明月の宴が催されたことが記され、宇多天皇が「**今夜の名月は並ぶものがないほど優れている**」という意味の詩を詠んだという記述があり、美しい月を愛でる風習として親しまれていたことが分かります。